

淀川水系河川整備計画策定にむけての
説明資料（第1稿）に対する意見書

上 野 市

淀川水系河川整備計画策定にむけての

説明資料（第1稿）に対する意見書

平素は上野市行政各般にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、みだしの説明資料（第1稿）を拝見いたしました。当市において市民の方々に漸くご承諾を頂き、現在も推進中である上野遊水地事業と照らし合わせますと、どうしても一言申し上げねばならないと思われましたので、以下の意見を提出させていただきます。

ご案内のように、当市を流れる淀川水系の支川である木津川、服部川、柘植川の三大河川は当市北西部に位置する狭窄部の岩倉峡で合流しています。そのため当市には水害被害に対する不安がかなり以前よりつきまとってきました。それでこの狭窄部の開削こそが当市の不安を解消する積年の悲願だったのです。しかし、開削を実施すれば下流の淀川流域が大規模な洪水被害に遭うということで、昭和46年上野遊水地計画が樹立されてきました。

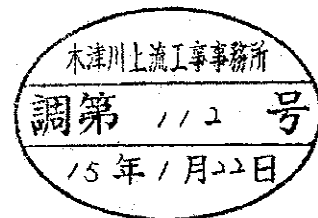
もちろん当初より市民の猛反対が噴出してきました。経済的な発展の可能性も含め、あらゆる意味で下流部の犠牲になるのかということでありました。しかし、**川上ダム建設と上野遊水地の両事業で当市に水害不安を残さないという当時の上野遊水地計画について、当市議会に特別委員会を設置していただき、市民の要望の実現と合わせて事業推進を図ることで、今日までご理解とご協力を得てきたわけです。**

しかしこの説明資料第1稿を拝見すると、治水・防災についての現状の課題では、当市の状況を的確に把握して頂いているようではありますが、それが今回の「**具体的な整備内容**」に反映されているとは言い難い。例えば、上野市域には実際のところまだまだ無堤部があります。また既往最大規模の洪水による浸水被害解消のための流域内

貯留施設等について検討とありますが、これに約30年前からの推進されてきた当市の遊水地計画にある川上ダム建設による洪水調整機能との一体化が不可欠であるとの記載がされていないことは誠に遺憾であります。

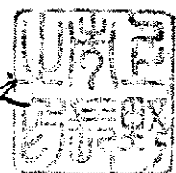
上野遊水地計画はあくまで下流部の安全確保のための計画であるので、その特殊性を考慮していない説明資料(第1稿)をそのまま鵜呑みにすることは非常に困難です。

よってこのような議論では、原点にたった考えに戻り、岩倉峡の開削という選択を取らざるを得なくなります。どうしても下流部の安全確保のため、開削は部分的なものでしか認められないということであれば、その特殊性を鑑み川上ダム早期建設完了を含めた上野遊水地事業の当初計画通りの推進を強く要望いたします。



平成 15 年 1 月 21 日

上野市長 今岡 睦之



上水工第 413 号
平成 15 年 2 月 25 日

近畿地方整備局
木津川上流工事事務所長 様

上野市水道事業管理者
大井 千 浩

淀川水系河川整備計画に対する意見について

平成 14 年 12 月 26 日に説明がありました淀川水系河川整備計画につきまして、
原案に対する意見を別紙のとおり提出しますので、よろしくお取り計らい下さい。

淀川水系河川整備計画の策定における意見について

河川の整備が下流から整備されてくる中、一応整備が進んできたように思われます。

ようやく上流域へ事業が展開されようとするとき、河川法が改正され、治水・利水から「河川環境の整備と保全」が追加されたことにより、上流域の水利用計画が大きく影響を受け苦慮しています。

当上野市水道事業も数次の拡張を繰り返し、第8次拡張事業（事業認可平成12年4月4日）給水人口67,700人、日最大給水量46,500㎥と展開してまいりました。

創設当時から地下水に依存していた水源も、第5次拡張（S47～53）からは不安定な地下水から安定した河川水を利用する浄水場を設け安定給水に努めてまいりました。

水道事業は当然都市の発展、生活文化の向上とともに、また施設の更新と、次期計画を持ち続ける必要があります。

そうしたなか、伊賀地方最後の水利権ということで、川上ダムへ水源を求め、伊賀水道用水供給事業計画へと発展してきております。

当然、上野市も川上ダムを水源とするこの事業に参加し、平成17年4月からの給水開始ということから、第8次拡張事業の水源として安定給水と未給水地域解消へと期待を大きくしていたところでした。

ところが最近になって（14年12月）川上ダムの選れを仄聞するようになってきました。

環境問題も大切であることはいまでもありませんが、地方生活も都市化された今日の社会では水道なしでは生活が成り立ちません。

当然水道事業も成り立ちません。

こうした状況におかれた当水道では、施設の老朽化に対処しつつ、水源の確保をお願いしなければなりません。

については、工事コストの縮減等経費の節約に努められ、早期に川上ダムを建設いただくようお願いいたします。

以上ご賢察頂き、計画どおりの事業推進を強く要望いたします。

上野市水道事業管理者 大井千浩